

# 播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)のルート計画案手交式を行いました

- 播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)は、国道2号バイパス等と新たな道路ネットワークを形成し、「製造業の活性化、投資促進」「観光周遊の促進」「交通事故の削減」「災害に強いまちづくり」を図る道路です。
- 11月28日に、「播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)ルート計画案手交式」を開催し、国が調査したルート計画案を兵庫県、神戸市に手交しました。また、播磨臨海地域道路網協議会の沿線市町の首長にもご臨席頂きました。
- 今後、ルート計画案を参考に、兵庫県、神戸市において、都市計画手続きに着手することになります。

## 手交式の様子



岡田加古川市長 油井神戸市副市長 水野道路部長 齋藤兵庫県知事 渡辺整備局長 清元姫路市長



■ 播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)ルート計画案手交式  
 日時：令和4年11月28日(月) 15:00～15:25  
 場所：兵庫県庁2号館 5階 庁議室  
 出席者：国土交通省 近畿地方整備局長、道路部長  
 兵庫県知事、神戸市副市長  
 姫路市長、加古川市長、高砂市長、稲美町長、  
 播磨町長、明石市長(代理:都市局長)



近畿地方整備局 渡辺局長の挨拶

播磨臨海地域道路は、国道2号を始めとする幹線道路網の渋滞緩和や地域振興の観点から、平成29年より計画段階評価に着手し、令和2年11月にルート帯を決定。ルート・構造の素案について、本日、都市計画決定権者である兵庫県・神戸市へ手交する運びとなった。都市計画手続きにおいては、地域の意見を十分に聞きながら、しっかり手続きを進めて頂きたい。



兵庫県 齋藤知事の挨拶

播磨臨海地域は、全国屈指のものづくりの拠点であり、カーボンニュートラルポート実現に向けた取り組みを進めるなど、将来の脱炭素化に向けても重要な地域。交通動脈である国道2号バイパスの渋滞によって、地域の社会経済活動に大きな支障をもたらしている。ルート計画案の手交は、早期整備に向けての大きなステップ。関係市町と連携しながら、周辺のアクセス道路を含めた具体の都市計画案の作成について、全力で取り組んでいく。国におかれては、引き続き都市計画決定に向けたご支援と、早期事業化に向けたご協力をお願いする。



神戸市 油井副市長の挨拶

播磨臨海地域道路は、現在事業中である神戸西バイパスと一体となり、広域の道路網を形成する重要な道路。神戸空港の広域的なアクセス強化にも重要であり、播磨、阪神地域のみならず、関西圏全体としても大変重要な道路である。神戸市として、できるだけ早期に事業化を図るよう、円滑な手続きに取り組んでいく。国におかれては、引き続き都市計画決定に向けたご支援と、早期事業化に向けたご協力をお願いする。

